

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校
「指定校における取組事例」

学校名	広島県立三原東高等学校	校長	前田 節子	担当者名	多田 靖
-----	-------------	----	-------	------	------

取組事例名 『特別活動における生徒の自己肯定感を高める取組』

生徒指導に係る連携体制の確立	カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話	○	主体的な活動を通じた絆づくり
----------------	------------------------------	---	----------------

取組における育てたい資質・能力

【自己管理能力】自らの思考や感情を律するとともに、「やればできる」と考えて行動できる力。

①生徒の自己肯定感を高める。②生徒が目標（なりたい姿）をもつことができる。

取組のねらい

- 特別活動を通して生徒の自己肯定感を高め，生徒が学校生活を意欲的に送る。
- 生徒会活動を中心にして，生徒の主体性を育成する。

取組の具体的内容

- 学校生活への目標をもたせる取組
 - 「東高ルーブリック」(学校生活のルーブリック)
 - ルーブリックを各HR教室に掲示し，生徒にとっての行動指針を「見える化」した。
 - 生徒スローガン「目標に向けて一歩先へ」
 - 執行部が年間目標を設定し，生徒総会で提案した。
 - 「成長をふりかえるシート」など，さまざまな場面でふれることで，生徒に目標を意識させた。
- 生徒主体の行事運営
 - 執行部によるオープンスクールの運営（8月）
 - 「三原東高校魅力発信PT（プロジェクトチーム）」を発足させ，企画・運営に生徒が参画した。
 - 縦割りLHRの実施（12月）
 - 「社会人に求められる力は何か」「そのためにどのように学校生活を送ればよいか」をテーマに，グループ討議を行った。

取組の創意工夫

- 共通の目標をもつことで，生徒どうしが「つながる」

項目	A（努力できる）	B（おおむね達成できる）
〇時間を守る	・5分前には授業の準備をすませる。	・1分前には授業の準備をすませる。
〇声だしのみ	・制服を正しく着こなし，お互いに注意し合う。	・制服を正しく着こなし。
〇授業への取り組み	・授業に集中して取り組み，予習や復習をする。	・授業に集中して取り組む。（ノートを書く，私語・居眠り・中抜け・忘れ物をしない）

- 主体的な活動の中で，生徒どうしが「つながる」



取組の成果と課題

- 生徒質問紙調査を経年比較すると，自己有用感や学習意欲について，肯定的評価の割合が高まった。
- 「三原東高校魅力発信PT」では，受付・案内係として1年生ボランティアを募集し，11名が執行部とともに運営に参画した。
- 学校行事は生徒全員が前向きに参加できる機会となるため，「成長をふりかえるシート」を活用して，できたこと・できるようになったことを言語化し，教員がそれを認めることで，生徒の自己肯定感を高め，教員と生徒の信頼関係が築けるように取組を工夫する。

【生徒質問紙調査経年比較】

質問項目	R1（※1）				R2（※2）			
	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまる	まったくあてはまらない	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまる	まったくあてはまらない
8 努力すれば，将来の夢や目標はかなうと思います。	33.0%	39.6%	19.8%	7.7%	43.0%	35.4%	16.5%	5.1%
26 勉強は，自分のみだんの生活や社会生活の中で役立つと思います。	22.0%	45.1%	27.5%	5.5%	22.8%	46.8%	26.6%	3.8%
27 これまで学習したことの中で，もっと学びたいことがあります。	8.8%	30.8%	40.7%	19.8%	15.2%	39.2%	30.4%	15.2%

※1 令和元年度は平成31年度入学生（91名）のもの
※2 令和2年度は平成31年度入学生（79名）のもの